



NPO 法人 留学生と語り合う会 (RKK) Relationship and Kindness are the Kings of Peace

新年度を迎えるに当たって

For the New Fiscal Year

NPO 法人 RKK 理事長 深水 智明
Tomoaki Fukami, Chairman of RKK (NPO)



留学生とのこの1年間の交流はいかがでしたでしょうか？ 楽しさ、嬉しさもあり、また、面倒なことも多かったと推察しますが、会員の皆様にとっても留学生にとっても差し引き、楽しさの方が多いという増益の収支決算を期待しております。

RKKの思いは、流行言葉ではありませんが、留学生ファーストであると同時に会員と留学生とが共にあることではないでしょうか。

新年度においても、活動を見つめ直し、少しずつでも内容のレベルアップを図り、また、環境変化に対応し、留学生のニーズに応じた支援を続けたいものです。そのために、定常的には議論ができないので、新年度を迎えるに当たり理事間でRKKの運営について、当面の重要課題や中長期的な見地からの議論を行いました。そこで課題の共通認識を得ると共に活動に有益な提起もなされました。これらの提案等については、全体および各々の活動で、その実状に合わせて、逐次、具体化されることを願っております。

さらに、来年のRKK創立20周年を長年に亘る活動のマイルストーンとし、今後のRKK活動の新たな展開の契機にするために記念事業を提案しました。一年をかけて、具体化のための準備を進めたいと考えております。新年度も皆様が安全に、楽しい活動をされることを願っております。

How was the exchange with international students for the past year? I suppose that you had fun, joy, but a lot of difficulty as well. However, when I look at the balance sheet, I hope fun is increasing in profit for both members and international students. I would say RKK wants to be, in today's words, "international students first", and it is also desired that members and students exist together.

In this fiscal year, we would like to review our activities and raise the level of their contents little by little, and also continue to support students in need while dealing with changes in environment. Since we cannot have regular discussions, we discussed management of RKK on this occasion among directors from urgent tasks to mid-and long-term perspectives. We shared common issues and helpful suggestions for our activities, and what I hope is that these suggestions will be embodied one by one depending on the situation of whole or each activity.

Moreover, we have regarded the 20 years of RKK's founding next year as a milestone of long time activities, and proposed a memorial project in order to be an opportunity to develop new activities. We would like to advance preparations to put the project into shape in a year. I hope that you will work safely and happily for this fiscal year.

(Translated by Azusa Sugita)

お知らせ

● RKK 通常総会および懇話会 ●

開催日: 5月5日(金、祝日)
場 所: かながわ県民センター (R301)
時 間: 総 会 (13:00~14:00)
懇話会 (14:15~16:00)
テーマ「ボランティアと私」

● STAR FESTIVAL at HIRATSUKA ●

Date: Saturday, July 8th
Meeting Time & Place:
12:15 at Hiratsuka Citizens Activity Center
For details: scan this code.



顧問からのたより



ほっそくとうしよ おも で
RKK発足当初の思い出

こもん よしざわたつ お
RKK顧問 吉澤達雄

現在のRKKは、発足当時
と比べると、規模の大きき、
活発な活動ぶりには驚かさ

れます。会員の皆さんの頑張りと組織の円滑な
コミュニケーションにより皆さんの豊富な人生経験が
遺憾なく発揮された結果だと思えます。

その昔、私は日本語学校の夜間講習に参加、休日には
中南米の日系勤労者に「職場での日本語」を教えて
いましたがスペイン語の必要性を痛感し、友人である
阪本先生のスペイン語教室に入室、その後「日本語
ボランティア養成講座」を計画しました。ここで日本語
の先生は当時横浜国大の留学生センターの志賀先生
にご紹介いただき、同校の留学生も参加、2年間で約
300人のボランティア教師が生まれました。この間、留学

生との交流も深まり、留学生の支援組織を作るという熱意
が具体化してRKKが誕生しました。発足後は、大学側との
折衝や各種イベントの開催等むずかしい問題がありました
が、留学生センターの山田先生に多大のご援助とご指導
をいただきました。東京工業大学での国際イベントには、
平塚七塔の和太鼓グループも参加、副学長から感謝の
言葉をいただいた事は忘れることができません。若い人達
が、何か新しい事を始める際には、その事の正当性
将来の見通しが、しっかりしていることが必要ですが、実力
と実体験豊富な方々の協力なくしては、うまく行きません。
人間関係が大切な由縁です。人間大使として自国は勿論
日本のためにも、RKKから得たものが大きな力となるよ
う、人類の平和と発展に尽くされんことを熱望いたします。

吉澤氏の紹介

吉澤顧問は1998年に開催された「日本語
教室」(戸塚)の先生で、「日本語教授法」、「外国人
ビジネスマンと敬語」等をお教えいただきました。今
も鮮明に覚えておりますが、この「日本語教室」の
閉講時に吉澤先生から「皆さんは熱心に日本語を
勉強されました。その成果を留学生に教えること

に活かしてはいかがでしょうか。」の一言でRKKが
始まったのです。そして、吉澤先生のお声掛けで19
99年4月11日にRKK発足の会合が開催され、
RKKが53人で発足しました。吉澤顧問はまさに
RKKの創立者です。そして来年RKKは創立20年
目を迎えます。(深水記)

ホームページをお訪ねください

ホームページは随時更新しており、「会員のひろば」も開設致しました。

「会員のひろば」を通じて留学生に対する支援、交流体験の他、コンサート、映画、絵画など
趣味の情報交換にも利用できます。

掲載希望の会員はメッセージをRKK広報委員会スタッフにお知らせください。

投稿先アドレス : sugita1526@ybb.ne.jp

掲載ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/> または、**NPO RKK** で検索

ホームページへのアクセスには、右コードをスキャンして下さい。

広報委員会では会員の皆様からの寄稿をお待ちしております。

広報委員会



留学生のたより



いま がんば
今まで頑張ったのは



私は 2016 年 10 月、横浜
国立大学の研究生として日本
にきました。もう、半年になり
ました。わからないことがまだ
たくさんあるからこそ面白いと
思います。

日本に来たばかりのとき
は、日本語で簡単な会話だけ、初級レベルでした。しか
し、いまは、大学院で、日本語で授業を受けるほど日
本語ができるようになりました。そして、バイト先も見つ
けました。これは、先生と先輩のおかげだと思います。
大学時代から日本で働いてみたいと、夢見てきまし
た。

おう びん ちゅうごく よこはまこくりつだいがく
王 玉嬌 (中国) 横浜国立大学

特に日本での留学中、世界各国から来ている留学
生と知り合い、友だちになりました。異文化に触れて学
ぶことも多くあり、現地の方々にはいろいろと助けても
らったり、元気づけられました。日本語のレベルアップ
などの研修を行いました。しっかりと指導していただ
いたので、現地には自信を持ってお客様を接待するこ
うことができました。休みを利用して日本の社会と文化を体
験することが私にとってはすごくいい経験でした。

私は心から日本と中国の友好を、そして、世界の
国々がもっと仲良くなることを祈っています。世界と
アジアの発展のために頑張りたいと思っています。

ぜひ、先生たちによりしくお願いいたします。
(原文のまま)

就活情報支援委員会



いま M2 ですか、B4 ですか、就職の話ができませんか？
—就活支援情報メールの配信希望登録を受け付けています—

(就活情報支援委員会 岩瀬暢男)

新学期が始まって新しい留学生への支援や、新学
年の新しい話題での語り合いが始まっているのではな
いでしょうか。この RKK ニュースがお手元に届く頃は、
日本で就職を希望している留学生にとっては大変重要
な時期になっています。特に M2 (大学院修士 2 年生)
と B4 (学部 4 年生) にとっては山場の時節と言えるで
しょう。秋入学の現 M2 生、現 B4 生も全く同じ状況に
あります。

留学生から「就活中です」や、「日本で就職しようか
どうしようか迷っています…」や、「自分は何に向いて
いるのか分からなくなりました…」や、「業種って
どうなっているのでしょうか？」や、更には「ダメなら
帰国しようと思っていますがどうでしょうか…」など
の声があったりしないでしょうか。

会員自身もまた「就職して働いた経験がないので話

が分からない…」、「昔の就活は知っているが、最近の
就活については TV、新聞からの情報しか知らないの
で不安だ…」などの悩みを持っておられるかもしれませ
ん。

このような悩みを持っておられる会員に対して委
員会では就活支援情報メールを配信して、留学生との
交流の際のお手伝いをいたします (RKK ニュース 66 号
p. 7 参照)。配信をご希望の方は、次のアドレスに題名
「RKK 就活支援情報メール配信希望」として、お名前、
送付アドレスを明記のうえ申し込みをお願いいたしま
す。登録後は、継続して随時 (概ね月 2 回) 情報をお
届けいたします。就活に関係なく会員の方はどなたで
も申し込みます。

登録申し込みアドレス：

rkshukatsu@yahoo.co.jp

グループ活動だより [中国語学習グループ]

元留学生 封 震 さんの思い出

中国語学習グループ研修旅行<桂林・飛行便欠航の合間で>



橋本 規子

「RKKニュースNo.65」に当グループ研修旅行の概要は掲載されています。あの時、突然のスケジュール変更(上海で乗り換える飛行便の欠航)に直面しました。日本からの添乗員はいない。先の見えない落ち着けない時間が生じました。その時、「これは上海? あっ! 封さんが・・」と、帰国して上海在住の元横浜国大大学院留学生・封震さんが脳裏に浮かびました。無謀にもメールしたのは6月24日深夜のことでした。[以下交信メール13通、斜体は封さんのメールで原文のまま、カッコ内は当時の状況と心情。ツアーの日程の関係で、上海では乗り継ぎ時間のみ。事前中国旅行の連絡はしていない。突然のメールで、封さんご夫妻の驚きは?]

22.22 状況を記したメールを送信しました。(中国なので文字化けを心配しましたが、)

22.45 浦東空港ですか? すぐ行きませんが場所を教えてください。(空港内の様子が見えず、戸惑う。)

23.13 航空会社はMU東方航空ですか、ターミナルは1ですか。待ち場所特徴あるものはありますか? 今途中、空港まであと30分です。(23.24ホテルへ移動開始指示あり。空港内の案内看板を探す。周囲の人に尋ねる。「電報通路」の文字を見つけるのみ。不安は募る。)

23.30 待ち合わせ場所をどこにしますか? あと、10分位で到着できます。(送迎バスに乗り込む。狼狽)

23.39 そろそろ到着です。出口番号ありますか? (23.44ホテル行のバスが出る。擦れ違う。不安ばかり)

23.42 今着いたけど、ホテルに行きます。(ホテル名がわからない。尋ねる。「こうき」漢字を聞く。)

ホテルに到着し、受付近くで部屋割等の指示を待つ中、名前を呼ばれて振り返ると、そこには李さん(封さんの奥様)の笑顔が目に入りました。封さんご夫妻はご自宅から空港まで一時間、そして、更にホテルまで来てくれました。外に出ると封さんが! ハグしたと思う。最高でした。感激でした。感謝です!

今年になってのメールに「昨年の再会は我らにとって、まさに幸せの一時でした。」とありました。私も全く同じでした。これからは、卓球の全国大会で三番目の成績を収めた天翔君(封さんご夫妻のお子さん)の応援を、考えています。



ご案内

にほんがくせいえんきこう Home page
JASSO(日本学生支援機構)ホームページ

充実した内容で、留学生にとっては貴重な情報源になっているホームページです。

奨学資金の提供企業や団体情報、就職かんれんイベント、就職活動体験談、留学生OB会など多彩な情報を日本語と英語で発信しております。

留学生支援活動の参考情報としてご活用いただけます。

リンク先: <http://www.jasso.go.jp/>



広報委員会より

グループ活動だより [日本語支援グループ]

わたし にほんごがしゅうしえん
私の日本語学習支援



個人を超えた組織的な支援で

ひがしちく ぼり たかこ
東地区 堀 孝子

RKKに参加し、早いもので6年が経ちました。6年の間に、キルギス、ウイグル自治区、大連、武漢と4人の留学生との交流の機会を頂いています。4人それぞれに日本語の習熟度はもちろん、来日目的も異なり、限られた交流時間の中で自分がどう貢献できるのか考えさせられてきました。

最近特に顕著な傾向として、留学生も日本語を習得する、あるいは日本の大学で学位を得るだけでなく、日本企業への就職を希望される方が増えているように思えます。それに伴い、私の交流も日本語学習支援から

エントリーシートの書き方、面接での質疑応答練習、就職活動へのアドバイスと幅が広がっています。ただ、私自身の経験則だけでは心もとなところもあります。どうしたものかと考えていたところ、思いついたのがRKKの会員には社会で切磋琢磨されてこられた諸先輩が多々おられるではないか？ということでした。

RKKの他会員の方に相談し、留学生へのアドバイス等支援を頂きました。結果、留学生の満足度も上がった様に思います。今後個人を超えた組織的な支援で、留学生の皆さんに貢献が出来ればと願っています。



Ferisはがいにたいがうけうけせいはいけんほうこうかい
フェリス女学院大学留学生体験報告会に参加



日本人の友だちとの心温まる交流を心に残して

北地区 松井 直子



1月24日(火)フェリス女学院大学において、2月に帰国する8人の留学生の体験報告会が行われました。様々な困難を乗り越え、無事に修了した留学生の語る体験の報告は、心に響くものがありました。また、それに関わったチューターの方々の、個々の要望、関心に沿った支援に、

心遣いの深さを感じました。そして何よりも留学生の一番心に残った事は日本人の友だちとの心温まる交流で、これは大学海外交流課の方々の、ご尽力の賜物と報告会を通して感じるものが多々ありました。私は今回初めてインドネシアの女性を担当しました。とても意欲的で、N2に合格したいという彼女の希望を叶えるために、週2回通った事もありました。とても充実した期間でした。彼女は敬虔なムスリムで、食事は制限がありましたが、お寿司が好物である事は外出の中で知りました。でも日本にはお祈りをする場所が少なく、外出先では不自由をかけてしまったように思います。4月には10人の留学生を迎える予定です。新たな出会いがありますように、心から願っております。

グループ活動だより [文化・ファミリー交流グループ]

はなみかい お花見会

文化・ファミリー交流 G 徳屋英生

暖かい日差しのもと、こども自然公園(大池公園)で恒例のお花見会が開催されました。

桜はまだ2~3分咲き程度でしたが、13か国42人の留学生とその家族、日本人会員25人総勢67人の参加を得、盛大に行われました。

日本人会員が準備した数々のお弁当に加え留学生が用意した各国のお国料理が花を添え国際色あふれる食事となりました。

飲み物、お酒、料理、お菓子などでお腹がいっぱい

になった後、みんなで桜の歌を歌い春の一日を楽しく過ごしました。

来年の再会と桜の満開を祈念して散会しました。



留学生の声



The word Ohanami is the meaning of "Cherry Blossom Viewing" that gives a sense of enormous beauty, pleasant and peace to all Japanese people.

Even, nowadays, many foreigners, also shows their interest in Ohanami and the festival related with it. In Japan, Sakura (cherry flower) is not only a flower rather it has an integral part of performing art, culture, festival and so on.

Ohanami is the Japanese concept of cherry blossoms in Haiku. The word Haiku is a search for the beauty, falling, purity and spirit of cherry blossoms.

Sakura, the cherry flower is not the national flower in Japan; however, it becomes the flower of mind and mental peace. In history, it has been told that Japanese people started rice eating in 1900 years ago, which they adapted from outside in the Yayoi period.

Sayeda Saika Binte Alam (Bangladesh) Yokohama National University

Ancient rural Japan was accustomed to magical beliefs of spirit that had been gradually mixing with their religious. Long years ago some old Japanese saw the same spirit in rice flower and Sakura flower, and from then Sakura steps in Japanese agriculture consideration. Many old Japanese believe that the gods who lived in Sakura trees came down to the rice garden from the mountains to give the richest rice harvest.

Messengers of spring and farewell of cold winter. Interestingly, Japanese children usually start elementary school during spring and children know that they will start their school when Sakura blooms. The steady stream of graduations and other partings of the ways, followed by entrance ceremonies for schools and companies, are all accompanied by the gentle tumbling of petals. It has cemented the traditional role of these flowers as a symbol of impermanence.

よろしくお願ひ致します

賛助会員のみなさまへ：ご支援ありがとうございます。

周 亜萍、小久保佐恵子、杉田あずさ、鈴木輝夫、服部牧子
佐々木紀長、山本友紀枝 深田昌子(敬称略)

新入正会員のみなさまへ：よろしくお願ひします！

岩村綾(藤沢市)、馬戦隆(神奈川区)、竹田孝子(神奈川区)(敬称略)

グループ活動だより [社会・工場見学グループ]

2017年3月23日実施 第62回 社会・工場見学会

- ①味の素 ②かわさきエコ暮らし未来館



日本の技術力は素晴らしい

王 晶 横浜国立大学(中国)



今回の工場見学の中で、日本の技術力がすごいと思いました。また見学会があれば、ぜひ行きたいなあという気持ちをもって期待しています。

しかし、そもそも企業が工場見学を設置する目的はなんだろうか、民間団体が工場見学にどんな効果を望むのかって出発した前自分がいろいろ考えてきました。こういう疑問を持ちながら、見学に行きました。

一つ目の見学は味の素の川崎工場です。シアターで日本人の食の歩みを360度の大迫力スクリーンで体感したことを通じて国民の健康と食生活の栄養が大事にされるのが分かってきました。それに、ほんだしの生産過程も近距離で見ることができたり、研究や高度の自動的機械が生活の豊かさを実現できたと感じました。豊富な商品が並んでいるアジバндаのショップで味の素の工場見学がゴールを迎えました。

午後見学したエコ暮らし未来館は、環境についての体験型環境勉強施設です。案内者に太陽光発電の原理や現状をいろいろ教えてもらって、有限な資源のもとで優れた技術を利用して無限なエネルギーを作ってきていることこそが日本の技術力の素晴らしいさではないかと思っています。それで、ゴミを分類しリサイクルする過程を見たと

き、作業者たちが混ぜ込んだゴミを拾い出すことに感動しました。そこまでやるのはどんな気持ちでしょうかと心の中で考えていました。

母国がいつかこういう細かいところまでやれるか、きれいな空のためにチカラに入れるのか心から願っています。見学前抱えた疑問もうようやく明らかになってきました。それは、優れた技術を生かし、国民の生活や環境に良い影響をもたらす意識じゃないかなと思います。これからも日本社会を深く理解するため、様々な工場見学を期待しています。(原文のまま)



かつおぶし削り体験



【社会・工場見学グループの報告】

RKKとして「味の素」の見学は今回で4回目になります。「ほんだし」の主原料は「かつおぶし」ですが、見学途中で「かなん(鮫)」を使った昔ながらの「かつおぶし削り」を全員で体験しました。これは今回が初めてのことで、見学の内容も次第に進化していることを実感しました。

「かわさきエコ暮らし未来館」では、①川崎市の公署と

改善の歴史、②クリーンエネルギーである太陽光発電施設、③家庭から出る資源物(プラスチック、紙)の分別作業などを見学しましたが、プラスチックや紙の中に包丁や金属製のおもちゃ、履き古した靴などが含まれていたりして、参加者皆で分別の大切さを改めて実感しました。

(山口 記)

おもな活動(2017/2～2017/4)

スタッフミーティング

◇3/20午前、サポートセンター-R711にて21人のスタッフ参加のもと、2016年度第4回スタッフミーティングが行われ、活動グループ、地区交流会、委員会それぞれからのC&C(報告・連絡そして相談)を実施した。またディスカッションタイムは、「新年度への抱負」をテーマに話し合った。

地区交流会

- ◇東地区：3/12に留学生も含め8人の参加で、「川崎市市民センター」にて地区交流会を実施。
- ◇西地区：1/25に15人の参加で「フレンズ戸塚」にて交流会を実施。
- ◇南地区：3/5に9人の参加で「中区民活動支援センター」にて交流会を実施。
- ◇北地区：3/11に12人が参加し「みなくる」にて交流会を実施。市民活動PR展示会に参加。
- ◇中央地区：2/5に「カナファン」にて交流会を実施。
- ◇湘南地区：3/4に7人が参加して「藤沢青少年会館」にて交流会を実施。

活動グループ

- ◇日本語支援G：恒例の日本語の教え方ブラッシュアップ講習会は、先生の都合で中止。
- ◇文化・ファミリー交流G:4/2のこども自然公園桜山でのお花見会には67人が参加。
- ◇中国語学習G：3月から新たな期に入り、13人が受講。
- ◇社会・工場見学G:3/23 味の素、かわさきエコくらし未来館見学には25人が参加。

委員会

- ◇会員委員会：3/20 マッチング検討会を実施。
- ◇広報委員会：RKK ニュース 67号の編集。ホームページは適時更新。
- ◇就活情報支援委員会：3月に会員から支援情報メール配信希望者を募集。
- ◇企画委員会：助成事業の検討
- ◇会計委員会：月次精算・決算作業。事業計画立案。
- ◇事務局：理事会・スタッフミーティング・総会開催準備、会員委員会サポート活動。

マッチング情報

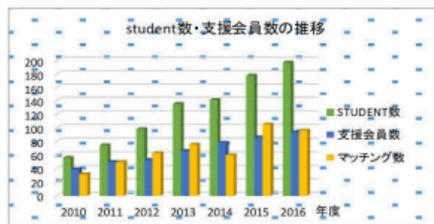
過去7年間の推移

会員委員会 矢野 純

- ・2010年度から、2016年度までの日本語支援状況の推移を図示しました。
- ・人数等は、すべて延数です。

STUDENT数・支援会員数・マッチング数の推移

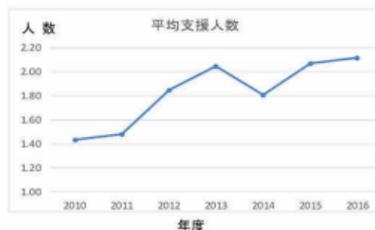
年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
STUDENT数	56	74	98	135	141	178	197
支援会員数	39	50	53	66	78	86	93
マッチング数	32	50	63	75	60	105	96



平均支援人数の推移

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
平均支援人数	1.44	1.48	1.85	2.05	1.81	2.07	2.12

- ・マッチング数は、9件ほど減りました。
- ・その他の指数は過去最高を記録しました。





交流会後の酒席で更に交流を深める

東地区 鈴木 隆

現在の東地区会員数は20名です。支援している留学生の出身は中国が一番多いですが、他にはベトナム、タイ、ロシア、韓国、フランスなど多様な国の方がいます。

東地区の活動としては年に3回の地区交流会などを開いており、いつも武蔵小杉駅そばの川崎市民センターのフリースペースを拠点としています。交流会では毎回10人前後の方が参加して、主に各自の今までの日本語支援内容や国際交流した経験などの報告、相談などを活発に行っています。最近では交流会が終わった後に、お酒の入った懇親会を行なって会員同志の交流を深めるのが恒例となっています。やはり海外情勢や異文化に興味を持った方が多く色々話がはずみ楽しい一時を過ごしています。

直近では3月12日に交流会を行いました。今回は非留学生会員の干泳さんに参加して頂きました。干泳さんは2013年に御主人の日本赴任に伴い来日し、昨年中国に帰られました。日本にいる間にN1を取得した他

に、フラワーアレンジメント講師の資格を取得して現在は北京でフラワーアレンジメントの教室を開いています。今回は花展に出品のために来日された機会に参加して頂き、お花に関するお話を中心に交流を深めました。東地区としては、これからは交流会の他に何かイベントなどの企画も検討したいと思っています。



右端が干泳さん

トピックス

よこはま ちゅーごうぐりゅうがくせいがかいしんわんがいかん かき
2017年横浜地区中国留学生学友会新年会参加記



賑やかな中国学友会 2017 新年会

湘南地区 岩瀬 暢男

横浜地区中国留学生学友会 2017 新年会に、深水利事長、大田さん、畑さんと共に計4人で参加してまいりました。開催日は1月23日で、会の開始が午後7時半からとやや遅く、留学生の参加を心配しましたが、開催場所の横浜市技能文化会館(横浜市中区万代町)は交通の便が良く、約140人も参加者が次々と集まり大宴饗やかな会場へと一変しました。学友会と交流の深い団体が23団体、36人も出席されていて、新年会らしい華やかな雰囲気になりました。団体の中には最有力の就活支援サイトや県の支援外郭団体、東京都関係大学など留学生が今、交流のさなかにある機関が目立ちました。胡会長のあいさつに続いて二胡演奏、デュエットでの歌唱、中国舞踏、新年祝いプレゼント贈呈会、抽選会、各種授賞式などが次々と催されました。写真は RKK が頂いた素晴らしいカレンダーです。

今回は現在、既に RKK で活動している何人かの留学

生から RKK で楽しく勉強できていますとか、RKK フェスティバルの話題が当たりして嬉しくなる場面が多々ありました。新しく RKK に興味を持ってくださった留学生ともじつり話したり、また、いろいろな種類の日本語学校から参加されている留学生グループとも沢山交流ができて、有意義な新年会でした。



留学生の皆さんへ／ For International Students

Let's join one-to-one Japanese language supporting program by volunteers.

- ・日常会話 (Daily Conversation) ・ビジネス会話 (Business Conversation)
- ・卒論、レポートの文書指導 (Writing Japanese Thesis & Report)
- ・新聞／書籍等の読解 (Reading Newspaper & Books)
- ・日本語能力試験 (Japanese Language Proficiency Test)
- ・就職活動 (Job Hunting ・ Entry sheets/Interviews)

Enjoy visiting plants/laboratories and participating in various cultural exchanges.

Contact : 津田 (Tsuda) e-mail: sakura_tudakei@ybb.ne.jp

Home Page : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Scan this code for getting application form



会員募集中

RKK の活動に興味をお持ちの方はホームページをご覧ください。
入会申込書はホームページ「入会案内」からダウンロードできます。
詳しくは、Home Page(Web Site) で検索をお願いします。



よこはま夢ファンド

横浜市には、ボランティア団体の支援を目的とした「よこはま夢ファンド」の制度があるをご存知でしょうか。

このファンドを通じてRKKの留学生支援活動を支援して頂けます。
ご協力をお願いします。

税制上の優遇措置など詳細は「よこはま夢ファンド」で検索して
当該のホームページをご覧ください。 (企画委員会)



NPO法人 留学生と語り合う会

連絡先 : 〒245 - 0008 横浜市泉区弥生台 9-1-12-407 萩原 敦

Eメール : rkk1025office@yahoo.co.jp Tel & Fax 045-813-8327

ホームページ : <http://rkk.world.coocan.jp/>

Friendship Association for International Students and Japanese Volunteers

RKK ニュース編集 : RKK 広報委員会 春号担当 杉田慶子 April 18, 2017

